

美しい町をつくるために

四年 社藤 杏美

私は、社会や総合的な学習の時間に、ゴミについて学習しました。学習をした中で、一番心に残ったのは、社会見学と、新川の観察をしたことです。

社会見学では、藤ヶ谷清掃センターに行きました。しよう却しよ理しせつや、うめたてしよぶん地しせつなど、全ての事にびっくりしました。中でも私が一番びっくりしたのは、

音をセンターの外に出さないくふうです。しせつ全体をあっいコンクリートと吸音材でかこむことで、音を外に出さない静かな清掃工場になるようにくふうされています。ゴミをしよ理するのが、そんなに大変だとは思いませんでした。

もう一つ心に残った亀川の新川の観察では、海に近い下流の方は、水が汚なかったです。ジュースのキャンや、べんとうのフタなども落ちていました。しかし、上流の方へ行くと、

ゴミは下流よりは、少しへっていましたが、
まだまだ落ちていました。魚も、下流よりは
いました。

私は、このような川を見て、どうして川に
ゴミを捨てるのかな、と思いました。ゴミ箱
にちゃんとゴミを捨てないといけないと思っ
ます。

ゴミは、人が生活する中で必ず出る物で
す。けれど、それを少しでもへらしていくこ
とが大切です。また、ゴミはちゃんと分別し

なければいけない、と思います。私の家では、
カン・ビン・ペットボトルは、ピンクの色の
リサイクルのふくろに出しています。それい
外のまだ使える物があれば、リサイクルしよ
うと思います。小さな事でも、みんながして
いけば、大きな事にきつとつながると思いま
す。そして、それが美しい町づくりにつなが
っていくと私は思います。